

SCRUM

with a smile

JAおいらせ
コミュニティ誌

2023 Vol.08



JAグループが取り組む国消国産とは？

JAおいらせのホームページでは毎月発行の広報誌が閲覧可能です。ほかにInstagramやFacebookで情報発信を行っていますのでぜひご覧ください。

●JAおいらせ HP

<https://www.ja-oirase.or.jp/>



●JAおいらせ Facebook



<https://www.facebook.com/jaoirase/>

●JAおいらせ Instagram



<https://www.instagram.com/ja.oirase/>



全農が運営する産地直送通販のJAタウンで当JAの長いも、ごぼう、にんにくをお買い求めいただけます。贈答用にもどうぞ。



●JAタウン おいらせ元気やさい

<https://www.ja-town.com/shop/c/ce2/>



JAおいらせは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

日本で食べるものは 日本で作る

こく しょう こく さん
「国消国産」を
いっしょに考えよう

JAグループサポーター
林修

なぜ今?
国消国産

生きるために欠かせない食料は 日本で作ったほうが安心

新型コロナウイルスの感染が広がり始めたとき、マスク不足が大きな問題になりました。もしこれが食料だったら、どうなっていたでしょうか。いざという時、マスクのような工業製品は急いで作れますが、農地を耕し、自然と調和しながら、長い年月をかけて育まれる**農畜産物は、不足したからといってすぐに作れるわけではありません。**

日本の「食」をとりまく5つのリスク

食料自給率の低迷

食料の多くを
輸入に頼り続けている

農業生産基盤の弱体化

農家の減少と高齢化、
農地の減少が進む

自然災害の多発

世界と日本の農業が
多くの災害に直撃される

世界的な人口増加

世界の人口増加で
食料不足が懸念される

国際化の進展

輸入増加で食料自給率
低下の可能性がある

日本の「食」は、今さまざまなリスクに直面

今、日本の食料自給率は38%*です。つまり**食料の約6割を輸入に頼っている**のです。その大きな要因は、農家の減少や高齢化など、**生産基盤の弱体化**です。さらに、日本も含めた世界中で**自然災害が多発**しています。もし、日本が多くの食料を輸入している国で自然災害などが発生し、食料生産が大幅に減少したら、日本の食生活にも多大な影響を及ぼしかねませんが、**食料の輸入は増加している**のです。さらに、今後も**世界的な人口増加**が予測される中、日本ではこれから先ずっと、食料を輸入し続けられるのかという懸念もあります。このように、日本の「食」は、多くのリスクに直面しているのです。

*カロリーベース 2019年 農林水産省による

だから今!
国消国産

「国消国産」で 「食」の安心を次の世代に

そのようなリスクにさらされている中で、JAグループは、「**国**」民が必要とし「**消**」費する食料は、できるだけその「**国**」で生「**産**」する、「**国消国産**」という考え方を提起しました。私たちの毎日の「食」の安心はもちろん、子どもや孫たちの世代にまで、この日本という土地で豊かな実りが絶えることのないように、おいしい食卓を囲む笑顔が絶えることのないように、「**国消国産**」は、日本の「食」のこれからにとって、**大きな意義**をもっています。



「地産地消」 「国消国産」で 食卓からSDGsを 始めよう。

JAグループサポーター
林修

日本の食と農、SDGsの実現のために
「地産地消」「国消国産」

私たちが地域でできること—「地産地消」

日本の食と農、SDGsのために、地域でできる取り組みが「地産地消」。その地域で生産された農畜産物を、その地域内で消費することです。例えばファーマーズマーケットを利用すれば、新鮮な地元の農畜産物に出会えます。また、食材の長距離輸送にともなうCO₂の排出削減につながり、環境への負荷を減らせます。



日本の食と農を未来につなぐ—「国消国産」

「地産地消」をはじめ、国産の農畜産物を消費することで、食の安心をすすめていくこと。それが「国消国産」。国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産するという考え方です。日本の食料自給率はカロリーベースで37%。6割を輸入に頼っており、このままでは、いざという時に心配です。生産者は今、消費者ニーズに応える農畜産物づくりに取り組んでいますが、日本の食を守るためには、国産農畜産物をもっと食べて、農業を応援していくことが重要です。



持続可能な社会を—SDGsにつながる「国消国産」

このまま日本が国内生産を増やさず、食料を海外に依存し続けたらどうなるか。安易に途上国から輸入をすることで、その国の食料を奪う可能性はないのか。「地産地消」「国消国産」をすすめることは、持続可能な食料、農業、地域社会、環境など、SDGsの実現に貢献します。またJAグループは、子ども食堂への食材提供、農業従事者への各種支援、フードロス削減など、さまざまな活動を展開し、SDGsの達成を目指しています。

地域で

日本で

世界に

地産地消

- ・地域で生産 ・地域で消費
- ・「食」や「農業」の理解
- ・食料自給率の向上
- ・地場産への愛着心や安心感

例えば私たちにできること

- ・ファーマーズマーケットを利用する

国消国産

- ・食料安全保障
- ・食料自給率の向上
- ・生産基盤の維持・拡大
- ・次世代の担い手確保
- ・多面的機能の維持・増進
- ・環境負荷に配慮した農業
- ・ごはんを中心とした日本型の食生活

持続可能な地域農業地域社会づくり

例えば私たちにできること

- ・国産農畜産物を選んで食べる
- ・ごはん(お米)をもっと食べる

SDGs 持続可能な開発目標

JAグループの取り組み

- 「飢餓をゼロに」
- 子ども食堂やフードバンクへの食材提供
- 「働きがいも経済成長も」
- 農業従事者への各種支援
- 「つくる責任つかう責任」
- フードロス削減
- エシカル消費の推進
- 農業生産における環境負荷の軽減 など

「国消国産」はSDGsの達成に貢献

10月16日は「国消国産の日」

10月16日は1945年に国連食糧農業機関(FAO)が発足した日です。国連はこの日を「世界食料デー」に定め、JAグループは「国消国産の日」として日本記念日協会に登録しました。JAグループは皆さんと共に「国消国産」をすすめ、持続可能な社会の実現を目指していきます。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

令和6年4月採用職員募集について

1. 募集人員 一般職員 1名程度
2. 応募資格
 - ・高校卒業以上で、平成6年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方。
 - ・普通自動車運転免許取得者（令和6年3月末までに取得見込可）
3. 提出書類
 - ①履歴書またはエントリーシート
 - ②最終学校の卒業証明書または卒業見込証明書
 - ③学業成績証明書

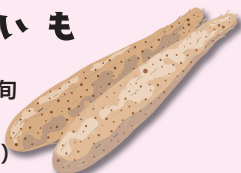
※①の履歴書は、当JAホームページからダウンロードし印刷してご使用ください。
 ※就職情報サイト「マイナビ2024」経由で応募の場合は、
 サイト上でのエントリーシートの提出により、履歴書の提出は不要です。
 ※提出書類は当組合規定により管理後、廃棄いたします。
4. 受付期間 令和5年3月1日（水）～5月25日（木）
5. 選考方法
 - ①適性検査
 ※当JAで提出書類を受領後、②の一次試験前にWEBで適性検査を受検していただきます。
 - ②一次試験
 日時：令和5年6月10日（土）
 場所：JAおいらせ 本店
 （1）筆記試験（SCOA）60分
 （2）作文 60分
 - ③二次試験
 日時：一次試験合格者に後日通知（1～2週間程度）
 場所：JAおいらせ 本店
 （1）面接
6. 提出先 〒033-0022 青森県三沢市大字三沢字堀口16番地7号
 JAおいらせ 本店企画総務課
7. 問合せ先 TEL 0176-54-2211
 メール kikaku-soumu@ja-oirase.or.jp



フルタイム・パートタイム 農作業のお手伝いできる方大募集!

長いも

3月下旬～4月末
11月中旬～12月中旬
収穫（土落し・
コンテナ詰込みなど）



ご登録いた
いた方には希
望時期にJA
から連絡さし
あげます。

にんにく

6月下旬～7月上旬
収穫
（根切り作業など）



ごぼう

9月上旬～11月頃
収穫・選別
（コンテナ詰込み・
箱詰めなど）



上記以外の時期にも作業がありますので詳細はお問合せ下さい。

募集要項

- 年 齢 ▶ 18歳以上（健康な方）
 勤 務 地 ▶ 三沢市・六戸町
 給 与 ▶ 時給853円以上
 そ の 他 ▶ 車通勤可能な方
 ※就業地まで通勤していただきます。

手続きの流れ

- ①JAにお電話ください
- ②JA職員と面談
- ③希望に沿った農家を紹介
- ④農家と面談
- ⑤就業開始

登録無料です!まずはご連絡下さい!

本 店 0176-54-2212
 六戸支店 0176-70-1170

厚生労働大臣許可02-特-000016
 おいらせ農業協同組合
 無料職業紹介所



クイズ

図書カード
1000円分を
5名様に
プレゼント

JAグループが提起する
「国」民が必要とし「消
費する食料は、出来る
だけその「国」で生「産」
するという考え方は?
「〇〇〇〇」

はがき、FAX、メール、ホームペ
ジの入力フォームのいずれかに、

- クイズの答え
- 郵便番号、住所
- お名前、年齢
- 電話番号
- 本誌の感想やJAへのご意見

をご記入の上、JA おいらせ本店
企画総務課までご応募ください。
（左下に記載）

4月14日（金）必着

※当選の発表は発送をもって代えさせてい
ただきます。
 ※いただいた個人情報はプレゼントの発送
に係る目的以外に使用いたしません。

